



平成30年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社
 コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 永嶋 秀和
 (氏名) 岡田 一男
 TEL 03-3345-6111

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第1四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第1四半期	4,237	8.0	307		419		298	
29年6月期第1四半期	3,924	62.6	36		34		32	

(注) 包括利益 30年6月期第1四半期 295百万円 (%) 29年6月期第1四半期 23百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第1四半期	22.15	
29年6月期第1四半期	2.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年6月期第1四半期	34,462	6,988	20.1	513.43
29年6月期	32,633	7,511	22.8	552.34

(参考) 自己資本 30年6月期第1四半期 6,915百万円 29年6月期 7,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		17.00	17.00
30年6月期					
30年6月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,581	11.0	408		607		404		30.06
通期	40,222	28.1	3,114	69.5	2,665	82.2	1,787	88.2	132.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期1Q	13,470,200 株	29年6月期	13,468,600 株
期末自己株式数	30年6月期1Q	76 株	29年6月期	76 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期1Q	13,469,063 株	29年6月期1Q	13,436,137 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページの[1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明]をご覧ください。なお、当社は純粋持ち株会社であり、その業績の殆どがグループ間での内部取引によるものとなるため、個別業績及び個別業績予想の開示は省略いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による金融緩和継続に加え、米国経済が減税期待により好調に推移したことにより、力強く推移しました。

当社グループが属する不動産業界におきまして、新築マンション市場は、低調に推移し、平成29年9月の首都圏のマンション契約率が64.9%（出所：株式会社不動産経済研究所の「首都圏のマンション市場動向」）と、好不調の目安となる70.0%を下回りました。

新築戸建市場は、都心近郊を中心に、底堅く推移しましたが、引続き需給バランスに注視していく必要があります。

このような状況下、当社グループは、マンション事業において、利便性の高い駅近物件を慎重に仕入れ、実需に応じたコンパクトマンション等、多様化するお客様のニーズに対応したデザイン性の高い高品質な家づくりに取り組みました。

また、ホテル事業につきましては、今期第4四半期に引渡が集中するため、当第1四半期連結累計期間における引渡実績はないものの、販売契約は順調に推移しております。引き続き京都を中心とした積極的な仕入を行っております。

戸建事業におきましては、従来の建売住宅や定額制規格住宅「HOUSTYLE（ハウスタイル）」の販売を推進する一方、都内や利便性の高い地域における重点仕入れ、地価高騰に対応した敷地の狭小化、内外装の高級仕様化による販売単価向上等に取り組みました。また、アパートなど収益物件の開発事業に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高4,237百万円（前年同期比8.0%増）、営業損失307百万円（前年同期は36百万円の利益）、経常損失419百万円（前年同期は34百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失298百万円（前年同期は32百万円の損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は以下のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は変動後のセグメント区分に基づいております。詳細は、「2.(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」の「2.報告セグメント変更等に関する事項」を参照ください。また、売上高の金額につきましては、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ウィルローズ田端」等、合計55戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高2,470百万円（前年同期比12.0%減）、営業利益125百万円（前年同期比50.0%減）となりました。

[ホテル事業]

ホテル事業におきましては、当第1四半期連結累計期間における引渡実績はありません。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高31百万円（前年同期比252.5%増）、営業損失69百万円（前年同期は28百万円の損失）となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「渋谷区本町2期プロジェクト」、「世田谷区等々力プロジェクト」、「和光市白子13期プロジェクト」等、分譲32戸、請負工事16戸、計48戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高1,569百万円（前年同期比85.4%増）、営業損失20百万円（前年同期は105百万円の損失）となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、自社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部11物件55戸、東京都下8物件13戸、神奈川県4物件8戸、埼玉県3物件3戸、千葉県3物件6戸、合計29物件85戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高136百万円（前年同期比54.5%減）、営業損失24百万円（前年同期は59百万円の利益）となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、平成29年9月30日現在のマンション管理戸数が前期末に比べ51戸増加し、3,364戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高105百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益17百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

[その他]

その他としましては、ゴルフ練習場運営等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高10百万円(前年同期比21.7%減)、営業損失0百万円(前年同期は2百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,829百万円増加し、34,462百万円となりました。負債については前連結会計年度末から2,353百万円増加し、27,474百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から523百万円減少し6,988百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、現金及び預金が465百万円減少、仕掛販売用不動産が882百万円増加、及び販売用不動産が963百万円増加したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、有利子負債が3,078百万円増加、未払法人税等が412百万円減少、及び買掛金が228百万円減少したことによるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、利益剰余金が527百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の連結業績予想につきましては、第2四半期及び通期ともに、平成29年8月4日に公表した数値に変更はございません。

当連結会計年度におきましては、第4四半期に全体の約6割の引渡が集中するため、契約進捗のお知らせをいたします。

当第1四半期連結会計期間末の物件販売における契約進捗については、以下のとおりとなります。

なお、管理・その他の収入を除いた物件販売に係る売上高を基にしております。

物件販売に係る売上高 (通年予算)	契約進捗高	契約進捗率
39,726百万円	14,378百万円	36.2%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,585,886	6,120,050
売掛金	17,382	20,930
完成工事未収入金	165,214	91,002
販売用不動産	3,615,645	4,578,709
仕掛販売用不動産	19,838,410	20,721,048
前払費用	372,537	336,467
繰延税金資産	64,355	184,153
その他	514,063	602,206
流動資産合計	31,173,497	32,654,570
固定資産		
有形固定資産	241,926	233,778
無形固定資産	14,093	12,269
投資その他の資産		
投資有価証券	409,507	413,282
破産更生債権等	132,319	132,259
長期貸付金	146,700	293,076
関係会社長期貸付金	298,651	301,798
その他	348,790	553,890
貸倒引当金	△132,319	△132,259
投資その他の資産合計	1,203,648	1,562,048
固定資産合計	1,459,668	1,808,096
資産合計	32,633,166	34,462,666
負債の部		
流動負債		
買掛金	522,606	294,524
短期借入金	5,339,439	4,876,347
1年内返済予定の長期借入金	6,324,493	6,395,208
1年内償還予定の社債	200,600	194,600
未払金	175,398	181,373
未払法人税等	422,234	9,971
未払消費税等	143,622	12,656
前受金	759,039	815,001
賞与引当金	12,595	49,825
その他	187,556	134,850
流動負債合計	14,087,586	12,964,359
固定負債		
社債	308,800	374,800
長期借入金	10,645,136	14,055,927
繰延税金負債	23,859	19,213
その他	56,033	60,215
固定負債合計	11,033,829	14,510,155
負債合計	25,121,416	27,474,514

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	394,379	394,762
資本剰余金	1,340,608	1,340,991
利益剰余金	5,637,186	5,109,899
自己株式	△33	△33
株主資本合計	7,372,140	6,845,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,642	58,779
為替換算調整勘定	11,449	11,501
その他の包括利益累計額合計	67,092	70,281
新株予約権	72,517	72,251
純資産合計	7,511,749	6,988,152
負債純資産合計	32,633,166	34,462,666

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,924,698	4,237,290
売上原価	3,012,255	3,520,083
売上総利益	912,443	717,207
販売費及び一般管理費	875,609	1,024,964
営業利益又は営業損失(△)	36,833	△307,757
営業外収益		
受取利息	819	6,564
受取手数料	9,292	2,752
解約精算金	3,000	—
為替差益	—	13,088
その他	9,039	3,492
営業外収益合計	22,151	25,897
営業外費用		
支払利息	70,944	86,768
持分法による投資損失	—	2,711
支払手数料	10,581	45,997
為替差損	6,862	—
その他	5,494	2,062
営業外費用合計	93,883	137,540
経常損失(△)	△34,898	△419,400
特別損失		
固定資産除売却損	2,067	—
その他	300	—
特別損失合計	2,368	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△37,267	△419,400
法人税、住民税及び事業税	58,733	8,056
法人税等調整額	△63,429	△129,135
法人税等合計	△4,695	△121,078
四半期純損失(△)	△32,571	△298,322
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△32,571	△298,322

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△32,571	△298,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,239	3,137
為替換算調整勘定	1,062	51
その他の包括利益合計	9,302	3,189
四半期包括利益	△23,269	△295,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,269	△295,133

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	マンション事業	ホテル事業	戸建事業	販売代理事業	建物管理事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	2,806,629	8,829	846,974	149,164	99,265	3,910,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	150,513	1,864	152,377
計	2,806,629	8,829	846,974	299,677	101,129	4,063,241
セグメント利益又は 損失(△)	250,266	△28,782	△105,982	59,448	15,588	190,539

(単位：千円)

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	13,834	3,924,698	—	3,924,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	152,377	△152,377	—
計	13,834	4,077,076	△152,377	3,924,698
セグメント利益又は 損失(△)	2,426	192,965	△156,132	36,833

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△156,132千円は、未実現利益の調整額等185千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△156,317千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	マンション事業	ホテル事業	戸建事業	販売代理事業	建物管理事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	2,470,279	31,123	1,569,906	50,082	105,063	4,226,455
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	86,370	—	86,370
計	2,470,279	31,123	1,569,906	136,453	105,063	4,312,826
セグメント利益又は損失(△)	125,154	△69,780	△20,853	△24,566	17,781	27,735

(単位：千円)

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	10,834	4,237,290	—	4,237,290
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	86,370	△86,370	—
計	10,834	4,323,660	△86,370	4,237,290
セグメント利益又は損失(△)	△430	27,304	△335,061	△307,757

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△335,061千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△335,061千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、経営管理区分を見直した結果、従来の「マンション事業」に含めていた「ホテル事業」を報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

これにより、報告セグメントを、従来の「マンション事業」、「戸建事業」、「販売代理事業」、「建物管理事業」の4事業区分から、「マンション事業」、「ホテル事業」、「戸建事業」、「販売代理事業」、「建物管理事業」の5事業区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。